

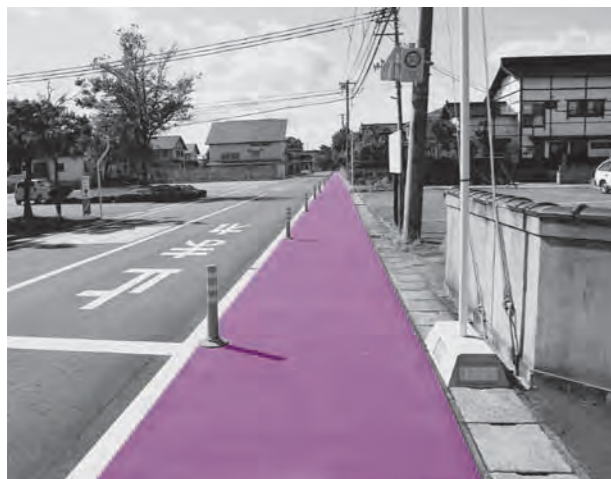


道路改良事業の凍結は

関 幸悦 議員

財政事情が好転した折に整備していく

町 長



安全を守るグリーンベルト（役場小学校線）

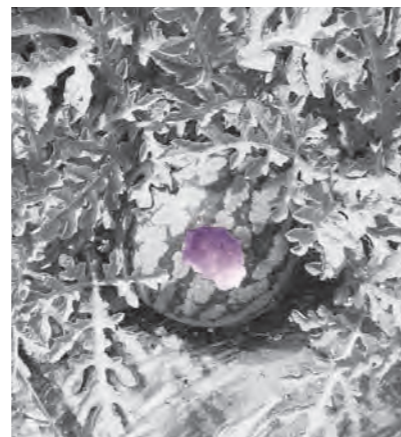
町道小菅田沢線

生活に欠かせない重要な道路。地区民の願いが叶い、道路整備に着手と思われたが、事業は凍結と説明された。子どもたちの安全確保や道路整備をどのように進めていく。町長 事業費が7千万円を超える見込みになった。当町の財政状況を考えると苦渋の決断。拡幅工事ではなく、他の安全対策を考えたい。

具体的には、警察と協議を行い調整している。グリーンベルトやドットラインを施したいと地区役員に提案したが、反対の声もある。土側溝の土砂の堆積がひどく、雨水があふれ児童の通学、車両の通行に支障がある。町長 土砂の堆積については、掘削して支障のないようにして行きたい。財政事情が好転した折に再度計画を考えたい。

デマンド型タクシー

福祉バスは、停留所が遠い地区や、冬期間は危険が伴い不便との声がある。デマンド型乗合タクシーを導入する考えは。町長 もともと福祉バスはスクールバスの有効利用という視点でスタートしたもの。時間的制約や車両の大きさから狭い道路の運行や、停留所設定は困難な状況。デマンド型導入については、高齢者の増加が確実に、公共交通機関もないことを考慮すれば、研究していきたい。



大事なスイカにカラス被害（小菅地内）

鳥獣被害対策

近隣市町村でクマ、イノシシ、カラスなど農作物への被害が多発している。当町でもスイカへの被害があり、未然に防ぐため鳥獣被害対策実施隊によるパトロールを要請できないか。

町長 当町の農作物の被害は、近隣自治体に比較すると少ない状況。今年、鳥獣対策実施隊に捕獲許可を出し、カラスの捕獲を実施したが、根本的な解決にはならなかった。生産者組織でパトロールを実施するのが現実的と考える。

町の考えを問う

関 幸悦 議員

- ◆町道整備は
- ◆福祉バスの見直しは
- ◆鳥獣被害対策は

9ページ

小玉 勇 議員

- ◆2期目でやり残したことは何か。また、次の4年間の公約は
- ◆全国学力・学習状況調査の結果は

10ページ

遠藤 宏司 議員

- ◆固定資産税の過大課税の対応は
- ◆諸課題に道筋をつける考えは

11ページ

村形 昌一 議員

- ◆大石田町を陶芸のまちへ
- ◆大石田鉱山から出る粘土を有効活用せよ

12ページ

大山 二郎 議員

- ◆町長のビジョンは
- ◆幼児教育無償化に伴い、給食費はどうするのか
- ◆雪対策は

13ページ

5 議員が一般質問



一般質問とは…

大石田町の様々な課題等について、議員が町に考えを聞くことを言います。

質問内容は議案とは関係なく議員が自由に決めます。議員1人当たりの持ち時間は1時間。